

平成27年度中小企業組合活性化情報

山梨県中小企業団体中央会機関誌

9月号

2015年
第706/281号
(毎月1日発行)

1・2面 ●組合・組合員企業の課題解決に

5面 ●6次産業化・ものづくりに取り組む企業

6面 ●大学生の中央会でのインターンシップ

8面 ●ゴルフコンペにご参加を10/17

8月の出来事

●時事

1日…来春卒業予定の大学生らの大手企業の採用選考が解禁

6日…夏の甲子園開幕、創設100年

11日…九州電力川内原発、再稼働

21日…ギネス世界最高齢、名古屋市の男性112歳

サメ出没、各地の海水浴場で

遊泳禁止

安全保障関連法案の国会審議

●山梨県中央会ニュース

28日…やまなし合同就職説明会

9月の予定

16日…青年中央会代表者会議

25日…正副会長会議、理事会

発行所 山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216

http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

定価100円

昭和36年4月10日 第三種郵便物認可

会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

中小企業タイムズ

平成27年度の中央会の主要事業

中央会では、平成27年度の事業として中小企業組合をはじめとしたと様々な連携組織、構成員の企業の経営改善や新たな取り組みなど各種の支援事業を展開しています。

その中から主要な支援事業を紹介します。組織の活性化や運営強化、組合員企業の課題解決などにぜひご利用ください。

また、中央会では中小企業経営に様々な情報提供も行っていますので、組合に関することだけでなく、個企業の経営力アップに関することもお気軽にお問い合わせください。

組合事業の活性化やリニューアル

- 組合課題対応集中指導事業(連携組織課)
経済環境の急激な変化や競争が激化する中、共同事業の円滑な実施に問題を抱えている組織や、構成員の共通課題の解決にせまられている組織を対象に、専門家の活用や先進事例視察などを通じて、組織や事業の再構築、新事業展開への支援を行い、組合等とその構成員の活性化を図ります。
▶対象経費：専門家謝金、会場借料、車借上料等
自己負担(対象経費の1/3)
- 小企業者組織化特別講習会(連携組織課)
中小企業組合及び新たに組織づくりを目指す小規模事業者等を対象として、組合の運営向上、組織化促進、事業者の経営向上を図ることを目的として、組合等組織制度や共同事業、経理・税務、労働、法律などについて学ぶ講習会・研修会の実施にかかる事業費の2/3(上限50,000円)を助成します。1回のみの実施計画でも可能です。
▶対象経費：講師謝金・会場借料等
自己負担(対象経費の1/3以上 ※補助対象上限を超える部分)
対 象：小企業者組合又は小企業者
期 間：平成28年1月末まで(事業完了期限)

組合または組合員企業に対する専門家支援

- 個別専門指導(連携組織課)
中小企業者、組合及び任意グループなどの組織が事業活動の中で直面する様々な個別の経営課題のうち、その解決のために税務、会計、法律、経営といった高度な専門的知識が必要とされる問題解決のため、専門家(弁護士・中小企業診断士・社会保険労務士、税理士等)を派遣します。
▶対象経費：専門家謝金
自己負担(対象経費の1/3)
- 消費税転嫁対策窓口相談等事業(連携組織課)
消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更の円滑な実施に向けて、中小企業者等が円滑かつ適正に消費税を転嫁できる環境を整備するため、組合役職員向けの講習会の開催や相談窓口の設置、専門家派遣を行います。
今年度は、消費税対応だけでなく、会計・税務、広告宣伝・PR、経営革新ほか中小企業・小規模事業者の経営上の課題に対しての講習会や専門家派遣も可能で、幅広い課題に対応できます。
中央会独自の会計の基礎や経営改善について学ぶ講習会も企画中です。
▶対象経費：専門家謝金、会場借料等
自己負担なし(講習会の一部は参加費あり)
期 間：平成28年1月中まで(事業完了期限)
- 中小企業・小規模事業者事業継続力強化支援事業(連携組織課)
中小企業・小規模事業者、中小企業組合、一般社団法人及び任意グループなどの組織が緊急時に必要とする事業継続計画(BCP)の策定について支援するため、専門家の派遣、講習会の開催を行います。
▶対象経費：専門家謝金、専門家旅費等
自己負担(対象経費の1/3)

期 間：平成27年12月中まで(事業完了期限)

組合青年部や女性部の研修事業の支援

- 青年部活動支援事業(連携組織課)
 - 青年部人材育成支援事業
組合等の青年部組織が抱える諸課題の解決や人材育成のため、専門家を活用した研修会・講習会・先進地事例視察などにより課題解決に向けた支援を行います。
▶対象経費：専門家謝金・旅費、会場借料、車両借上料等
自己負担(対象経費の1/3)
 - 青年部研修会(組合青年部県大会)
県内の青年経営者が一同に会して、青年部の運営方法や共通した経営課題に対する研修会を開催し、中小企業における事業承継や世代交代の円滑化を図ります。
▶対象経費：専門家謝金・旅費、会場借料等
自己負担(対象経費の1/3)
- 女性部活動支援事業(地域開発課)
 - 女性部人材育成支援事業
組合等の女性部組織が抱える諸課題の解決や人材育成のため、専門家を活用した研修会・講習会・先進地事例視察などにより、課題解決に向けた支援を行います。
 - 女性部研修会(県大会)
組合女性部の構成員及び女性部未組織組合の女性が一同道に会して女性部の運営方法や共通した経営課題に対する研修会を開催します。
▶対象経費：(専門家に対する謝金・旅費、会場借料、車借上料等)
自己負担(対象経費の1/3)

組合事務局の人材育成

- 組合士受験対策講習会(連携組織課)
中小企業組合士の試験科目である「組合制度」、「組合運営」、「組合会計」の3科目について、受験対策講習会を開催します。例年10月下旬~11月下旬頃実施し、12月初めに実施される試験に合わせたカリキュラムを使い受験者全員合格を目指し講習を行います。全国中小企業団体中央会認定、業界資格取得のチャンスです。
▶参 加 料：1科目1,000円(資料代)

農商工連携・6次産業化の支援

- 6次産業化ネットワーク活動支援事業(地域開発課)
 - 専門家派遣事業
6次産業化に取り組もうとする農業者・農業法人がかかえる課題解決のために専門家を派遣して支援します。また、6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受けようとする農業者、農業法人の事業計画づくり、認定を受けた事業者の事業展開を専門家がアドバイスします。
 - やまなし6次産業化サポートセンター／相談窓口
山梨県内の6次産業化に関する質問や相談者課題・ニーズに対し、電話等での簡易な相談・支援方法のアドバイスや情報の提供を行います。
TEL：050(6864)6788 FAX：055(237)3216

(2面へ続く)

（1面から続き）

中小企業のものづくり支援

■中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金(ものづくり支援センター)

平成26年度補正予算として県内の中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や研究、商業・サービス業による革新的な取り組みに対して補助を行います。

▶対象：山梨県内において開発拠点を有する中小企業者

■地域人づくり事業(ものづくり基盤技術支援事業)(ものづくり支援センター)

ものづくりなどを行う中小製造業者が行う、優秀な人材の定着や雇用改善等を目的とした経営改善計画の策定、経営分析、補助金申請等への取り組みに対し、無料で専門家(中小企業診断士)を派遣します。

▶対象：山梨県内の中小製造業
※自己負担なし

詳しくは、「ものづくり支援センター」専用ダイヤル050-6861-9988まで

中小企業の人材確保の支援

■中小企業情報発信支援事業(労働対策課)

新卒人材の採用に意欲のある中小企業を開拓し、「新卒者就職応援ナビ」への求人情報の登録、掲載を推進するとともに、学生の企業選択の範囲を広げ、中小企業に対する関心や意識の向上を促すために、事業概要や採用情報など企業の魅力を積極的に発信します。また、中小企業への就職促進と中小企業の新卒人材の確保を図るために、合同就職説明会の開催など、中小企業と学生との出会いの場を提供します。

■若年者職場定着支援事業(労働対策課)

中小企業における新規就職者を対象として、ビジネスマナーやコミュニケーション能力などを学ぶ新入社員研修から、仕事の進め方やキャリアデザインなど、入社後3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月と段階ごとに応じて、社会人として必要なスキルを学ぶための研修を開催します。また、企業の人事担当者を対象にコーチングや面接能力などのスキル向上を図るセミナーを開催し、優れた人材の確保と新規就職者の職場定着のための支援を行います。

■生涯現役社会実現環境整備事業(労働対策課)

高齢者が健康で意欲と能力がある限り年齢に関わりなく働き続けることができるよう、職務経歴や企業年金等の社会保障制度等を踏まえた高齢期(概ね55歳以上)における職業生活設計を高年齢者が自ら行い、当該設計を踏まえた働き方ができるよう生涯設計セミナーを開催します。また、職業生活設計に向けた相談・援助等を行います。

■地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業(労働対策課)

山梨県内の中小企業等の魅力の発信や、企業が求める人材と求職者が求める企業のそれぞれのニーズをマッチングをさせるため、若者、シニア、女性(主婦)向けの職業能力向上セミナー、合同就職説明会等の各種イベントの実施や総合的な企業情報・求人求職サイトを作成します。

■地域中小企業・小規模事業者UIターン人材確保等支援事業(労働対策課)

「UIターン人材拠点事業」及び都市部大学等と連携し、地域の人材コーディネート機関として都市部に流出した若い人材を中小・小規模事業者に紹介するシステムを構築する。あわせて県内の中小企業等の魅力の発信や企業が求める人材と求職者が求める企業の求職求人ニーズをマッチングをさせるための職業能力向上セミナー、合同就職説明会等の各種イベント実施や総合的な企業情報・求人求職サイトを作成します。

■学生U・Iターン長期職場体験支援事業(労働対策課)

県内へのU・Iターン就職を希望する学生と県内中小企業のニーズに即した有償職場体

験を行い、アルバイトのような単純労務では体験できない実践的な就労体験を通じて、学生の県内中小企業への関心を高め、職業観の醸成を図るとともに、企業の魅力の発信や人材育成力の向上を図り、U・Iターン就職を促進します。

■中小企業処遇改善支援事業(労働対策課)

県内の中小企業が人材育成、経営力改善、販路拡大、生産性の向上等の実現を図りながら、同時に、賃金の引き上げや非正規雇用従業員の正規雇用化等、在職者の処遇改善につなげる取り組みに対して専門家による支援を行っています。

最低賃金アップに関する経営改善への支援

■専門家派遣・相談等支援事業(労働対策課)

最低賃金の引き上げに向けて意欲的に取り組む中小企業の経営課題や労務管理などの相談に対して「最低賃金総合相談支援センター」を開設し、ワンストップで専門家による支援を行っています。

その他の事業

■中小企業団体情報連絡員の設置(連携組織課)

県内の業界を代表する役職員を「情報連絡員」として委嘱し、毎月1回、各業界の景気動向等を調査し、全国中央会で集計(全国約3,000名)し、中小企業の景気動向資料の一角を担っています。

また、本会独自の中小企業景気動向調査として毎月DI値の集計を行い、その概況をとりまとめ、県内中小企業の景気判断の目安となる資料として、中小企業タイムズへの掲載と各報道機関への情報提供を行っています。
(情報連絡員：50名 調査回収：12回(毎月1回))

■富士東部地域組合交流会(郡内支所)

富士東部地域の組合及び組合員企業等が一堂に会する場を設け、地域産業についての研修と意見交換を行うことで、連携による中小企業経営の発展と組合活動の活性化の課題と展望について検討します。

▶対象：富士東部地域組合員企業関係者
開催日時：平成27年10月20日(火)
開催場所：富士河口湖町「ハイランドリゾート ホテル&スパ」

■第46回中小企業ゴルフコンペ(労働対策課)

県下会員組合及び中小企業関係者等の情報交換、人材交流及び福利厚生の一環として「中小企業ゴルフコンペ」を開催します。
▶開催日時：平成27年10月17日(土)
開催場所：笛吹市「ウッドストックカントリークラブ」

■第67回中小企業団体全国大会(地域開発課)

中小企業施策の充実・強化、中小企業の健全な発展を目的として、沖縄県において開催される全国大会に40名程度の参加者を募り参加します。
▶開催日時：平成27年11月20日(金)
開催場所：沖縄県「沖縄コンベンションセンター」

■第21回中小企業組合まつり(地域開発課)

県内経済を支えてきた地場産業等の中小企業組合を中心に、地域資源を活用した既存製品、新製品、新サービスの開発、販路拡大・販路促進に向けた取り組みに対して、総合的な展示会等の場を提供し、県内地場産業製品のPR事業を行います。また、中小企業者の出会いの場とすることで、新たな連携組織化の啓蒙・普及の促進を図ります。
▶開催日時：平成28年3月13日(日)
開催場所：甲府市「アイメッセ山梨」

食品表示法に対応しビジネスチャンスをつかむ！



今年4月1日に新たに「食品表示法」が施行された。この新法は、消費者基本法の基本理念を踏まえて、これまでJAS法、食品衛生法、健康増進法などで定められていた食品表示に関する規定を統合した食品の表示に関する包括的かつ一元的な制度である。また、「機能性表示食品制度」も導入された。

新法に対応するために、食品事業者はほとんどの食品でパッケージの改版が必要になり、新たなコストが生じるというマイナス面が指摘されている。一方、自社製品の機能性をわかりやすく表示できるようになることで消費者に商品の正しい情報を提示でき、購入の選択肢を増やすことができるようになったことは、大きなプラス面である。

これまで特定の保健的効果のある食品を示す基準として消費者庁長官の許可による「特定保健用食品(通称:トクホ)」があった。自社製品をトクホとして許可を得るためには、個々の製品毎に科

学的根拠を示し有効性や安全性の審査を受ける必要があり、そのための時間的・金銭的な負担が大きく、中小企業が許可を得るためのハードルは非常に高かった。

今回導入された「機能性表示食品」は、論文などの科学的な根拠を示せば、国の審査なしに健康への効用を表示できる食品表示の新たな仕組みで、生鮮食品を含む全ての食品が対象になるという。また、届出制とすることで審査を省き、商品化のハードルは下がったものの、一方で安全性・機能性については事業者自身が責任を負うことになる。

新法の施行は販売拡大の大きなチャンスになるという期待の声が上がる一方で、「根拠があいまいな届け出が多い」などとする指摘もある。しかし、中小企業にとって絶好のビジネスチャンスが到来したとプラス思考で前向きに捉え、いち早く商品化に取り組むことが企業経営の浮沈を左右する。

▶ データから見た

業界の動き

平成27年
7月分

●情報連絡員からの景況報告の概要

消費税率改定から1年以上が経過したが、電気代や食料品をはじめとする身の回り品の物価上昇を起因として消費心理の減退から全体的に景気の回復感はない。

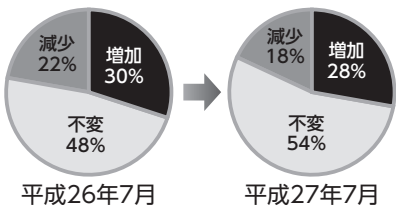
しかし、円安が追い風となり中国等からの訪日旅行者によるインバウンド消費が宿泊業を中心に拡大している。

また、お盆前の前倒し受注により製造業の一部は繁忙であるが、石油価格の低下によるエネルギーコスト減はあるものの円安による原材料の高騰や人件費の増加等から経費削減に繋がらず、収益確保には至っておらず、厳しい経営状況が続いている。



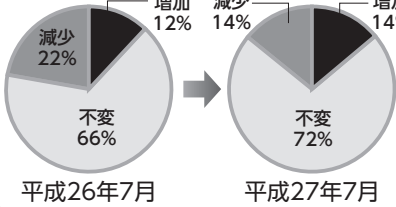
データから見た業界の動き(平成27年7月分)

▶売上高(前年同月比)



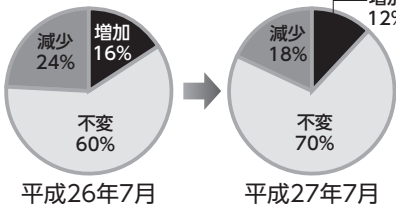
- DI値 10(前年同月比+2)
- 業種別DI値
製造業 +5(前年同月比▲10)
非製造業 +13(前年同月比+10)
- 前月比DI値
製造業 20ポイント改善
非製造業 6ポイント改善

▶収益状況(前年同月比)



- DI値 ▲±0(前年同月比+10)
- 業種別DI値
製造業 ▲5(前年同月比+5)
非製造業 +3(前年同月比+13)
- 前月比DI値
製造業 20ポイント改善
非製造業 6ポイント改善

▶景況感(前年同月比)



- DI値 ▲6(前年同月比+2)
- 業種別DI値
製造業 ▲5(前年同月比+10)
非製造業 ▲7(前年同月比±0)
- 前月比DI値
製造業 10ポイント改善
非製造業 10ポイント改善

業界からの報告

■製造業

- 食料品(水産物加工)／生食材や新商品は好調だが、ギフト関係が低調のため全体の売上は前年同月比93%。
- 食料品(洋菓子製造)／台湾輸出が好調だったが、自社製品やOEMが低迷したため売上は前年同月比97%。お中元商戦は低調。
- 食料品(菓子)／売上は前年対比で増加。ボイラーに使用する灯油価格が昨年より安値なため、経費削減に繋がっている一方、原材料の高騰が続く、厳しい状況に変わりはしない。
- 繊維・同製品(織物)／ホテル、マンション仕様の高級インテリアや裏地の受注は順調に推移しているが、低価格品は厳しい。
- 繊維・同製品(アパレル)／下請け加工は単価が上がらず厳しいが、製造販売や委託加工は受注量が増加。
- 窯業・土石(砂利)／昨年度に比べて公共工

事が減少。

- 窯業・土石(山砕石)／製品出荷量は前年同月比10%以上の減少。さらに諸資材の高騰で利益率は下降気味のため、設備投資が出来ない。
- 一般機器／お盆前の前倒し発注等で売上が増加傾向にあるが、円安により製造原価が上がり収益状況が悪化。
- 電気機器①／受注量の変動が激しく短納期及び安価なコストでの受注のため厳しい状況。
- 電気機器②／お盆前の駆け込み受注が増加。収益や取引条件並びに資金繰りなど昨年より改善傾向。
- 宝飾(研磨)／秋の商戦に向けた材料主体の展示会が2日間開催され、来場者(105%)、売上(138%)ともに前年を上回った。特に、県外のバイヤーが前年対比145%と伸長。

■非製造業

- 卸売(紙製品)／中国への輸出価格が平均20%位下落しているため、国内古紙価格への波及を懸念。
- 卸売(ジュエリー)／国内流通は低迷。
- 小売(青果)／気温の上昇に伴い野菜等は入荷量が増加したが、果実等は猛暑により減少。
- 小売(食肉)／国内の豚肉・牛肉の相場が更に値上がりしているため、販売価格を多少値上げしても追いつかない状況。
- 小売(電機製品)／地域店・量販店ともに売上が前年を上回った。
- 小売(石油)／ギリシャや中国の景気悪化やイランの経済制裁解除等により原油価格が下落傾向にあり、卸売価格も値下げ傾向。
- 商店街①／イベントによる賑わいはあるが、日中猛暑が続くため来街者は減少。
- 商店街②／飲食店を中心に中国人観光客が大幅に増加しているが、爆買いはない。
- 不動産取引／東京からの物件買い取りの依頼が多い。物件の定価販売が少なく値引き交渉の依頼が非常に多い。
- 宿泊業(甲府)／外国人宿泊客の割合が増加傾向。スポーツ大会等の参加人数も前年比3割増となり売上増。夏休みに入り週末は

宿泊予約が取りにくい状況が続いている。

- 美容業／物価の値上がりに伴い来店客数や客単価が減少。
- 警備業／公共工事の発注が始まった。夏祭り等のイベント開催が多くなり警備員不足等から労務単価は上昇しているにもかかわらず低価格競争となっており、受注に至らず売上が伸び悩んだ組合員企業もあった。
- 建設業(総合)／7月の県内公共工事動向は、前年同月、件数、請負金額ともに20%減少。
- 建設業(型枠)／7月に入り工事物件も出始めたが、前年程までには至っていない。
- 建設業(鉄構)／稼働率は高い。県内の公共物件も徐々に増え、7月の見積り発行件数は前月度に比べ倍増。
- 設備工事(管設備)／アパート等賃貸物件の増加により売上は、前年同月比23.4%増。円安による原材料高や技術者の不足等による人件費の増加により販売価格は上昇傾向。
- 運輸(トラック)／天候の影響により今年の青果物の出荷量が前年対比減少しているため、青果物輸送を主軸としている事業者は収益確保に苦慮している。

オピニオン opinion

●第一設備株式会社 代表取締役 小田切 祐生氏(甲州市管工事協同組合専務理事)

社会的な責任を果たすことが企業の役割

山梨県中央会から提案された組合のBCP(事業継続計画)講習会で、山梨県における地震等のリスクと被害想定、それらに伴う事業の中断リスクについて学びました。

その中で、従業員の安全と雇用を守り経営を維持するために、自社の基礎的な設備や能力の再確認とともに、災害時に事業継続が可能なのか、またどのような備えが必要なのか、についてあらかじめ整理しておく必要があると考え、BCPの策定をはじめたところだ。

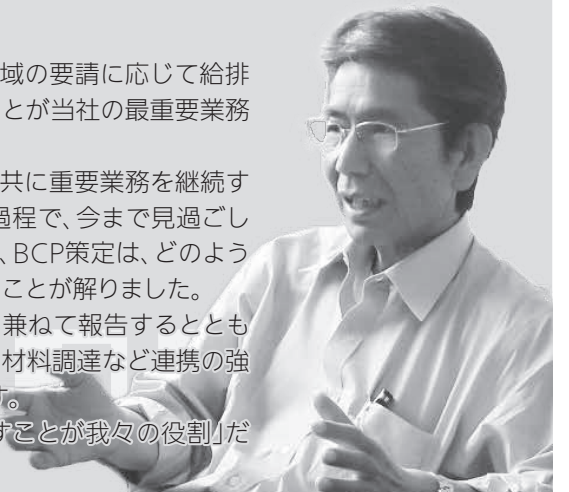
当社は、管工事業を営む会社です。市民の生活に無くてはならないライフラインの一つである水の供給と排水にかかわる事業を行っています。今後30年以内の地震発生確率が88%と高い「東海地震」ではマグニチュード8クラスの地震が想定され、当県においても断水率は5割、上下水道の復旧には一ヶ月間かかるとの想定がされています。

災害発生後の緊急時には、何を置いても地域の要請に応じて給排水設備の確保(仮設工事や復旧工事)をすることが当社の最重要業務であることを再認識しました。

現在、BCPの専門家や中央会担当者の方と共に重要業務を継続するための対策についてまとめています。その過程で、今まで見過ぎていた事柄の中にも重要な点がいくつもあり、BCP策定は、どのような業種・企業にとっても必要な取り組みであることが解りました。

自社のBCP策定後には、組合員への普及も兼ねて報告するとともに、非常時における組合員間での設備や人材、材料調達など連携の強化についても検討していきたいと考えています。

「地域の期待に応え、社会的な責任を果たすことが我々の役割」と痛感しました。



TOPICS

“うちわ”と“レンタサイクル”で楽しむエコな花鳥風月

甲府ホテル旅館協同組合(伴野公亮理事長)では、組合員の旅館・ホテルを訪れる宿泊客に少しでも暑さをしのいでもらうため、県内の風光明媚なスポットを紹介したうちわを5千本用意しフロント等で配布している。

うちわ配布のきっかけは、平成23年に発生した東



これまでに製作したうちわ(左端が今年のもの)

日本大震災により節電対策が迫られる中で、「山梨の自然が感じられるうちわを使い、お客様に快適に過ごしてもらいたい。」との想いから製作することになった。

組合では、毎年、四季折々の風景や県内の観光地などの写真を取り入れ、見た目も涼しげなうちわになるよう工夫を凝らしており、今年は昇仙峡(甲府市)、清里高原(北杜市)、富岳風穴(鳴沢村)、西沢渓谷(山梨市)と富士山の写真を採用した。裏面には組合員の旅館・ホテルを掲載し、一昨年から組合事業として取り組んでいる「レンタサイクル」の設置場所も紹介している。猛暑が続く中、気軽に涼を楽しめる“夏の風物詩”は外国人にも好評で、宿泊客に毎年さわやかな風を届けている。

また、甲府市から委託を受けて実施している「レンタサイクル」は、組合員の旅館・ホテルなど7ヵ所に

甲府ホテル旅館協同組合



組合員の旅館・ホテルなどで設置されているレンタサイクル

設置された電動アシスト自転車を1日500円(子供用普通自転車は1日300円)で利用できる。組合では自転車で観光名所を周遊できるモデルコースの作成や市内のサイクルショップと提携した自転車等の修理、電動アシスト自転車用のバッテリー交換等への対応など、利用者が気軽に利用できる環境を整備しており、山梨の自然や風景、“風”を直に感じられるツールとして一役買っている。

TOPICS

おもてなしの『料理勉強会』を開催!

山梨飲食業協同組合(辻和夫理事長)は、8月19日(水)に「おもてなし」をテーマに料理勉強会を開催、組合員の子供たちや孫たちを含め約30名が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で勉強会が行われた。このイベントは昨年から開催しており、学校



が夏休み中に開催することで、組合員の子供たちや孫たちにも参加してもらい、子供や孫にとっては料理の楽しさを体験するとともに、家業の一端を知る重要な機会ともなっている。

当日の講師は、昭和町「つばめ寿し」の河田優副理事長と南アルプス市「勝花」の清水勝一理事が務め、プロの料理人の技を披露した。

今回は、子供から大人まで幅広い年齢層の参加者に楽しみながら技術習得をしてもらうことを目的に、旬の鮎の姿寿し・旬の鰻の三色寿し・寿しシャリの作り方・ももやソルダムを使った特製ジャムの作り方の実演を行ったほか、参加者が実際にお寿司や巻物作りを体験した。プロの料理人の技を間近にし、組合員は技術を学び、子供たちにとっては夏休みの良い経験となった。

組合では、今後も様々な料理人がお互いの腕を

山梨飲食業協同組合



活かした勉強会を開催することで組合員の相互研鑽を図って行くほか、組合員の調理・衛生の知識や技術向上のために情報交換・講習会を開催し料理人としての技術向上に取り組んでいく予定である。

辻理事長は「後継者育成のため“こだわりの味や料理人の技”を若手料理人に伝えていながら、次世代の料理人を育てて行くことにも積極的に取り組んで行きたい。」と語った。

新たに設立された組合

協同組合

山梨県柔道整復師会

new association

理事長/大澤 正英

設立/平成27年6月3日

住所/山梨県甲府市中央4丁目12番21号 甲府法人会館内

TEL/055-232-5487 FAX/055-232-5482

組合員/22名 出資金/1,040,000

組合の沿革・設立の経緯

昭和27年に社団法人山梨県整骨師会が設立(平成24年に公益社団法人に組織移行)され、柔道整復師制度の普及と県民の医療・保健・福祉の増進等を目的として活動してきました。また、適正な保険制度の運用、ボランティア活動、経営相談、定期的な研修会や情報交換会等を行いながら柔道整復師の技術向上を図ってきました。

しかし、公益社団法人組織では経済事業が制限されており施術機材等の設備・用具の購入を行う際にも限界があるため、公益社団法人山梨県柔道整復師会の有志により様々な事業展開が可能な事業協同組合の設立を行いました。

組合の活動・方針

柔道整復業界では、医療技術の急速な進歩に伴い、より高度で良質な施術が求められる傾向にあり、新たな理学療法機材等の導入など近代経営による事業展開が必要になってきています。

また、整形外科・マッサージ師・鍼灸師・整体師等の類似業種が増加し競争が激しくなるとともに、国の医療費の抑制のための政策推進など、業界を取り巻く環境も大きく変化しています。

組合では、施術機材等の設備・施術機材などの共同購買事業、教育情報事業による柔道整復師としての技術向上、福利厚生事業による組合員間の融和と団結を図るなどの様々な事業を展開し、個々の事業



協同組合「創立総会」を開催

者の経営の安定化・合理化、取引条件の改善を図るとともに、組合組織の強化を通じて業界としての信用力の向上を目指していきます。

チャレンジ! 6次産業化

地域資源の活用、エコフィードの取り組みと ブランド羊肉の加工販売

●株式会社ふじさん牧場 代表取締役 藤田 太一氏

6次産業化に取り組むこととなった経緯は?

ふじさん牧場は、平成20年8月より富士吉田市で観光牧場としてスタートしました。現在は羊、牛、馬、うさぎを飼育し、動物体験、自然体験、料理体験、喫茶等を行っています。

平成22年1月から、勝沼のワイナリーのブドウのしぼり粕と忍野村の豆腐店の国産大豆100%のおからを餌にして育てたブランド羊肉ふじさんワインラムの販売を開始しました。



食品残渣を家畜の飼料の原料として使うというエコフィード(環境に優しい「エコロジカル」と節約する「エコノミカル」に飼料「フィード」を掛け合わせた造語)は食料や飼料の輸入依存度の高い我が国では重要な取り組みで、ワイン粕やおからは産業廃棄物として処分される未利用資源です。山梨県酪農試験場の研究により牛の餌としては既に例がありましたが、羊では初めての取り組みになりました。羊にワイン粕を与えたことで、血中ビタミン濃度が上がり、赤みの味がしっかりとした良質の羊肉になりました。

6次産業化への課題はなんでしたか?

平成23年3月、委託加工により羊肉新商品(ハム、ソーセージ)が完成しました。それにより、羊肉生産の拡大、肉の自社加工、販売網の確立等、生産から加工、販売に一貫して取り組む6次産業化に本格的に取り組むこととなりました。

そこで、平成24年度に6次産業化総合化事業計画の認定を受け、平成26年度には国の補助金を利用した加工



施設を建設し、この加工施設の完成で、羊肉の加工品を自社で行うことが可能になりました。

私はもともと東京の経営コンサルティング会社に勤めていたため、これまで羊を飼った経験も無く、牧場づくりや羊の肥育・繁殖に関しては素人でしたので、計画通りに飼育頭数を増やすために色々な勉強と試行錯誤の連続でした。最近では経営も安定し、新しいスタッフも雇用することができるようになりました。これからも健康な羊を育て年間出荷頭数を増やしていきたいと思っています。

今後の展開は?

今後も、地域資源の活用とエコフィードの取り組みを継続しながら、系列の宿泊施設や小売店への卸売販売を行うと共に、来場したお客様へ羊肉の加工品の直売やふじさんワインラムをレストランで多くの人に食べて頂き、美味しさを広めていきたいと考えています。

やまなし“ものづくり”最前線!

酒粕と麴を利用し画期的なスイーツを開発

～日本酒製造の技術と副産物を有効活用～

●井出酒類販売株式会社 代表取締役 井出 與五右衛門氏

富士河口湖町船津で酒類販売を行っている井出酒類販売株式会社では、関連企業の酒造会社の日本酒醸造過程に出る副産物の酒粕と発酵食品の材料として注目されている麴を利用し、平成24年度ものづくり試作開発等支援補助金で、「酒粕と麴の両者の相対性を発酵技術により融合化させた挑戦的かつ画期的商品の開発」をテーマとした甘酒の香りのするノンアルコールで低カロリーの新商品スイーツの開発に取り組みました。

麴の活用方法として、麴の持っているタンパク質分解力酵素(酸性プロテアーゼ)による糖化液に含まれるグルコース、アミノ酸、ビタミン、麴酸などの栄養素を抽出した。世界無形文化遺産として登録された和食の原点でもある発酵技術を使っている酒粕からは、9種類の必須アミノ酸やビタミンB群、抗がん作用の高い麴酸を抽出、また、繊維質や酵母の菌体による整腸作用を活かしながらアルコール発酵からもたらされる複雑な風味の抽出にも成功しました。



販売している開発商品

また、麴と酒粕の特長を生かしながら知名度の高い富士山の伏流水を使用し、甘酒やシロップなどの飲物類とチョコレート、プリン、ゼリー、パート・ド・フィリイ、羊羹、飴などのスイーツ食品を試作しました。

開発されたノンアルコール低カロリーの甘酒「蔵元 あま酒」、プリンの「酒粕ぶらんまんじゅ」やチョコレートの「酒粕きゃらちょこ 鰻(ふく)」は、現在直営店で販売を開始し、お客さまから好評を得ています。

井出社長は、「ノンアルコールで低カロリーの甘酒の各種製品化により、既存顧客である女性をはじめ、アルコール離れしつつあるスイーツ男子や病後の体力回復を目指す高齢者など、幅広いユーザーに浸透することを目指していました。また富士山が世界文化遺産に登録され国内外の観光客が増加していることから、開発商品を目玉商品にし既存商品との相乗効果による販売向上と観光客を中心とした酒蔵見学者へのアピール力を高め、その後のネット通販によるリピート販売の推進を考えていました。

更に開発したノンアルコール低カロリーの甘酒の各種製品を顧客の購買喚起にインパクトを与える戦略商品として位置づけ、健康食品である上に富士山の天然水を使用しているといった特徴を市場にアピールしながら、高付加価値を維持する工夫を凝らしていきたい。」と新商品への期待と将来に向けての抱負を語ってくれました。



井出社長

中央会では、平成24年度より国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組む事業者を紹介します。

経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接お話しを伺うことで、学生と企業の相互理解を進め、雇用のミスマッチ等の解消を目的としています。

学生企業レポート 第50回



経営者

株式会社ホワイトボード
代表取締役
橘田 孝一 氏

海外に通じる 会社を目指す

学生



専門学校サンテクノカレッジ
マルチメディア学科
2年 市川 彩香 さん

▶ 学生 会社概要、事業内容について教えてください。

▶ 経営者

弊社は、2004年に創業、2013年に法人化しました。今から15～16年前に塾の講師をしていた時、学生の間ではネットを利用した嫌がらせやいじめが起きていました。その状況を探る中で、インターネットについて興味を持ち、海外のカンファレンスイベント等にも参加し、インターネットの可能性を強く感じ、その方面に進むために創業しました。

創業当初は主にホームページ製作を行っていましたが、海外の動向を見ていると、どうしたらユーザーが反応するのか、感動するのかという、「Webマーケティング」の分野が注目され始め、ホームページを作るだけでなくマーケティングの概念を活かしたWeb構築やコンサルティングを始めました。その結果、顧客が増え、業績が良くなっていきました。

▶ 学生 求める人材についてお聞かせください。

▶ 経営者

一つは常に明るく前向きな人、二つ目は「利他の精神」を持った人です。

「利他の精神」とは、人によかれというマインドを持っているかどうかです。自分の能力や成長は、決して自分一人の力ではなく、たまたま自分に身についたのだと感

謝できることが大切です。そして社会に出たら、今度は自分が還元する番だという考え方で他人にどう役立てるのかという考えを持つことが重要だと思います。

三つ目は、自分で考えて実行する人です。与えられた条件や環境の中で「目の前にあることだけやっていれば良い」という発想ではなく、自分でどのように変化・創造して物事を作り上げていけるかという能力を持った人です。こうした人材を求めています。

▶ 学生 業界の現況や動向についてお聞かせください。

▶ 経営者

最近感じていることは、インバウンド・アウトバウンドとも英語以外の多言語対応が必要だということです。また、今後はターゲットとする利用者を意識したユーザーに優しいデザインもできないといけないと思っています。

今後、日本は更に高齢化が進み、文字の大きさや使いやすさといったシニアマーケットなどのニーズに合わせたサービス提供が重要になってくると思います。

取材を終えて…

今後更に発展していくであろうWeb業界の貴重なお話を伺えたこと、常に感謝を忘れず目の前にある物事に真剣に向き合うというお話しには学ぶことばかりでした。私自身の「働く」ということへの価値観も大きく変わり、今後に繋がる、非常に価値のある経験となりました。

▶ 学生 同業他社と比べ御社の強みや特徴についてお聞かせください。

▶ 経営者

弊社の手掛けたWebサイトはお客様にとっての目標達成率が非常に高いことです。私たちはお客様のWebサイト構築の際に、「今までどのような状態なのか」「どこまでを目指しているのか」「どうやってそれを実現するか」という三つの項目を必ずチェックし、お客様の目標を設定します。

その目標に基づいて集客スキームや販売促進スキームという枠組みをしっかりと作り込んでいるという部分が他社との大きな違いではないでしょうか。

もう一つは社員の質だと思っています。単に「Webサイトを作れます」というだけの社員はいません。一人ひとりがインターネットを通じて世の中の進歩・発展に貢献することを目指し、使命感を持って取り組んでいます。



学生企業レポート 第51回



学生

山梨県立大学
国際政策学部 国際コミュニケーション学科
3年 石原 綾夏 さん

失敗は成功のもと

経営者



株式会社 峡南堂印刷所
営業部長
笠井 健弘 氏

▶ 学生 会社概要を教えてください。

▶ 経営者

当社は創業94年の印刷会社です。印刷業界はWeb制作などのペーパーレスの方向にシフトしている中で、当社は紙媒体の印刷物を中心として、チラシ、ポスター、個人で作る書籍などの印刷とそれに関わる企画・デザインをしています。印刷物はすべてがオーダーメイドなので、お客様の要望に応え、良い製品を納期に間に合うことを心掛けています。そのため、お客様との信頼とコミュニケーションが大切です。

また、昨今は値段の安いネット注文の印刷が普及しており、価格ではどうしても勝てないので、付加価値や信頼関係が重要だと考えています。創業94年の経験・知識・伝統を継承しながら、印刷だけでなく新たなことに挑戦していく「伝統と挑戦」と、地域活性化につながるように社会貢献していくことが会社のモットーです。

▶ 学生 社員の方とのコミュニケーションの取り方で心がけていることはありますか。

▶ 経営者

社内は4つの部門に分かれています。以前は部門間の意思疎通や交流が十分に図れていない状態でした。現在は業務開始前や後に話し合いの場を設けたり、週に一回朝礼で順番に社員が1人ずつ話をする機会も設けています。また、月一回は社員みんなで昼食をとり、そこで仕事やブ

ライベートの話もするようになりましたし、部門を越えての勉強会も行っています。社員同士がコミュニケーションを取りやすくなるようにすることで、お互いの部門の仕事を理解できるように、前よりもスムーズに連携が取れるようになったと感じます。

▶ 学生 新卒の方を採用することに対するお考えは。

▶ 経営者

当社では若い力を求めています。印刷業界は今、ペーパーレスの時代で、広告などの紙媒体が減ってきています。今後は紙だけでなくインターネットなどトータルでお客様のセールスプロモーションをしていこうと考えていますので、若くて柔軟な、失敗を恐れないパワーと発想の力が必要だと思っています。

▶ 学生 学生時代に考えていた「働くこと」と社会人になってみてからのギャップはありましたか。

▶ 経営者

学生時代はコミュニケーション力があればなんとかなるだろうと甘く考えていた面もあります。しかし、実際の

取材を終えて…

大変緊張しながらインタビューしましたが、笠井部長からはフレンドリーなお話をいただき、アドバイスもいただきました。貴重な学生時代、失敗を恐れずに色々なことに挑戦していきたいと思いました。

仕事では、お客様の要望をデザイン担当にうまく伝えられずにお客さまに迷惑をかけたこともあります。就職する前は、数年で一人前になれると思っていましたが、社会人になって10年たってもまだまだ分からないことはたくさんありますし、社会に出てから初めて働くことの難しさを痛感しました。

▶ 学生 就活に際して学生に伝えたいことはありますか。

▶ 経営者

私が就職活動をしていたときに一番苦労したのは、スケジュール管理と面接での受け答えです。「いいことを言わなきゃ!」と変に取り繕うより、正直に自分をアピールしたほうが良いと思います。その点で、学生時代のアルバイトやサークル活動などで養った人間関係の築き方は社会に出て役に立っていると思います。

学生時代は何事も失敗を恐れずに挑戦するべきです。就職活動中は色々悩むことが多いと思いますが、仕事についてから、やりがいは見つけれられると思います。



インターンシップ 体験記

中央会では、学生の就業意識を向上させることで将来的な県内経済の発展に寄与するという目的で、大学からの要請で毎年インターンシップ生を受け入れている。

●山梨大学
生命環境学部 地域社会システム学科
3年 河西 沙知

訪問企業 ▶ 株式会社 東夢

地域の役に立ちたいという想いから設立された(株)東夢の高野社長の非常に前向きな考え方が印象的でした。「チャンスを活かせるかどうかは自分次第で、覚悟を決めることができる人がそのチャンスを掴むことができる」というお話は、とても心に響きました。できない理由を言うのではなく、まず挑戦してみることで、その気持ちが大事だということを改めて感じることができました。

様々な企業を訪問しお話を伺うことは、大変貴重な経験になりました。今回感じたことを胸に、何事にも失敗を恐れずに挑戦する気持ちを大切にしていきたいです。



●山梨県立大学
国際政策学部 総合政策学科
3年 原山 徹

訪問企業 ▶ 株式会社 石友

ジュエリーの製造販売を行っている(株)石友の向山専務にお話をいただき、会社が従業員をととても大切にしていること、会社の利益を優先するのではなく、将来を見据え人を成長させることを考えている姿勢がとても印象的でした。また、私が興味を持っている企画部門については、ターゲットをしぼること、海外を含めた世の中の時代の流れを常に把握することの大切さを知りました。

様々なことを学ぶことができ、充実した五日間でした。訪問させていただいた組合・企業の皆様、本当にありがとうございました。



●山梨大学
教育人間科学部 学校教育課程
生活社会教育コース 3年 飯塚 哲太

訪問企業 ▶ かいてらす
(山梨県地場産業センター)

かいてらす(山梨県地場産業センター)では、印伝や手漉き和紙、宝飾品、甲州ワイン、ほうとうなど、私自身が知らない山梨にゆかりのある商品や魅力が多くあることに驚きました。観光で県外や外国から訪れたお客様がかいてらすを訪れるだけで、山梨県の魅力を広く知り、楽しむことができる施設だと実感しました。

インターンシップを通じて、1つの分野だけではなく視野を広く持ち、積極的、主体的に物事を知ろうとする姿勢が重要だと実感しました。今後はより高い意識をもって生活していきたいと考えています。

情報BOX

経営や労務管理面での改善点を無料相談でサポートします。

専門家派遣・相談等支援事業のご案内

最低賃金の引上げを行う際の生産方法や販売方法の改善や賃金・労働時間制度、安全衛生管理など中小企業・小規模事業主が抱えるさまざまな経営、労務管理の問題解決を支援するためにワン・ストップで無料相談に応じる厚生労働省の委託事業です。

また、この事業では中小企業・小規模事業主の皆さまから、問題解決のためのご要望があった場合には、専門家が派遣され、具体的な課題解決方法の提案を行います。

●ご相談の一例です●

パート社員の処遇	退職後の再雇用	勤務時間等規程の改定
就業規則の手直し	給与体系の見直し	服務規律等見直し

コンサルタントなど専門家の派遣

ご相談は、下記センターまで

(相談は無料です。開所日にご注意ください。)
※相談内容や会社情報の秘密は厳守いたします。

相談窓口	山梨県最低賃金総合 相談支援センター	所在地	甲府市飯田 2-2-1 山梨県中小企業団体中央会 内
開所日 時 間	月曜日・水曜日・金曜日(年末年始・祝祭日等を除く) 午前9時～午後5時 ※開所日にご注意ください。	担当地域	山梨県内全域

※本事業は、山梨労働局(厚生労働省)からの委託を受けて実施しています。

助成金を活用して正社員化を!

トライアル雇用奨励金

制度の概要

職業経験の不足などから就職の困難な求職者を、原則3ヵ月「試行雇用」し、その適性・能力を見極めた上で、常用雇用に移行する制度。求人者、求職者双方がお互いを理解することができ、ミスマッチ防止に繋がります。

支給額

対象者1人当たり 月額最大4万円 母子家庭の母等又は父子家庭の父は月額5万円
【最大3ヵ月】

対象者(例)

- ①就労経験のない職業を希望する者
- ②過去2年以内に2回以上離職している者
- ③出産・育児のため離職し、1年以上経過した者

キャリアアップ助成金(正規雇用等転換コース)

対象事業主	支給額
有期契約労働者や派遣労働者等を、正規雇用又は無期雇用に転換するコースを就業規則や労働協約に規定し、実際に正規雇用等に転換した事業主	・①③は28年3月31日までの間支給額増額 ・()内は大企業の額 ・派遣労働者を正規として雇用した場合10万円を加算
①有期労働契約者 → 正規雇用	1人当たり 50万円(40万円)
② // → 無期雇用	1人当たり 20万円(15万円)
③無期雇用者 → 正規雇用	1人当たり 30万円(25万円)

短期間正社員コース もあります。

短期間正社員制度を規定し
①有期契約労働者等を短期間正社員に転換
②短時間正社員を雇入れ等
↓
1人当たり30万円(25万円)

1組合1組合士 組合の明日を拓く組合士



検定試験を受けて組合士になろう!!

平成27年度 中小企業組合検定試験 12月6日(日)

試験資格 特になし(ただし、組合士として認定されるには組合等での実務経験が必要です。)	受験料 平成27年9月1日(火)～10月15日(木) 5,000円(一部科目免除者は3,000円)
試験科目 組合会計 組合制度 組合運営	その他 お申し込み方法など詳しいことは、最寄りの都道府県中小企業団体中央会にお問い合わせ下さい。
試験日 平成27年12月6日(日)	お問い合わせ先 都道府県中小企業団体中央会 http://www.chuokai.or.jp 全国中小企業団体中央会 http://www.chuokai.or.jp TEL:03-3523-4907
試験地 札幌、青森、仙台、秋田、郡山、さいたま、東京、長野、静岡、名古屋、大阪、松江、岡山、広島、山口、高松、福岡、長崎、大分、宮崎、那覇	

主催/全国中小企業団体中央会 後援/中小企業庁 協力/都道府県中小企業団体中央会

第46回 中小企業団体親睦ゴルフコンペ開催!

開催日時 平成27年 **10月17日(土)**
※1組目 スタート 7:30～

開催場所 ウッドストックカントリークラブ (笛吹市八代町竹居5740)

参加費 1名につき **¥15,000-**
(プレー代、昼食代、パーティー代含む)

参加申込期日 平成27年9月30日(水)まで
をお願いします。

★皆様のご参加をお待ちしております!!

山梨県中小企業団体中央会が推進します



随時募集中

労災上乘せ共済

万一の従業員の災害に備え、十分な安全対策を講ずると同時に、十分な補償体制を整えておくことが「企業の繁栄」と「従業員福利厚生」のための必要条件です!

引受保険会社
三井住友海上火災保険株式会社 山梨支店
〒400-0858 山梨県甲府市相生2-3-16
TEL 055-228-4331 FAX 055-228-4385

●山梨県中小企業労務改善団体連合会

通常総会において新執行部が決定! 講演会も開催

山梨県中小企業労務改善団体連合会(大宮山磐会長)は7月28日(火)、中央会研修室において通常総会を開催し、傘下会員24名が参加した。

当連合会は、中小・小規模事業者の労務改善を推進することにより、勤労者の経済的、社会的地位の向上を図ることを目的として昭和51年に設立され、各種セミナーや表彰式典の開催、アドバイザーによる労働相談業務等に会員17団体が取り組んでいる。

総会では、平成26年度の事業報告・収支決算と平成27年度の事業計画・収支予算等が承認、決定された。また、「中小企業処遇改善事業」の専門家派遣や研修会開催により、販路拡大や生産性の向上等の経営支援を通じた構成員企業の従業員の処遇改善に昨年度に引き続き取り組むこととした。

あわせて、役員改選が行われ、大宮山会長が再選されるとともに、あらたに都留市経営者連絡協議会の藤江会長が理事に就任した。(新執行部は下欄のとおり)

総会終了後に開催された講演会では、「昨今の景気動向」をテーマに、日本銀行甲府支店の谷口文一支店長の講演が行われた。支店長からは指標やグラフなどを基に説明がされ、「景気の現状を判断する際に、生産・所得(分配)、支出の循環に着目しているが、今後中国経済の減速が予測される中で、このサイクルが県内経済にどのような影響を及ぼすかを注視している。」などの話があり、多くの参加者が熱心に聴き入っていた。



あいさつを述べる大宮山会長



講師の谷口日本銀行甲府支店長

山梨県中小企業労務改善団体連合会 役員名簿

役職	所属団体名	氏名
会長	山梨市中小企業労務改善協議会	大宮山 磐
副会長	甲州市中小企業労務改善協議会	松吉 寛治
副会長	市川三郷中小企業労務改善協議会	青沼 博
理事	都留市経営者連絡協議会	藤江 厚夫
理事	山梨県トラック事業労務改善協議会	中村 勇
理事	山梨県自動車整備労務改善協議会	斉木 重夫
理事	山梨県トラックターミナル労務改善協議会	三枝 幹夫
理事	国母工業団地労務改善協議会	高根 明雄
監事	協同組合山梨県流通センター	深沢 博生

編集後記

最近めっきり涼しくなり、7月の降雨の時期もあり今年の暑い夏は短かった気がします。日本の祝日は来年から年間16日だそうです。今月もシルバーウィークがあり、仕事のやりくりと体調管理が大変です。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

Yamanashi Kenmin Shinkumi

けんみん信組
カードローン

My Pleasure Plus

マイプレジャープラス

27年4月リニューアル!

皆さまの日常を便利に変える、カードローン「My Pleasure Plus」
この一枚で手に入れる、あなたの新しい「Pleasure」を

ご融資金額 最高800万円まで

ご融資利率 (一般のお客さま) **年3.80%～年14.50%**
固定金利(1年自動更新)

当組合にて住宅ローンをご利用のお客さまは
さらに、**0.5%優遇!**

ご融資利率はお客さま毎に審査のうえ決定致します。
パート・アルバイトの方もOK!
スマートフォンからもお申込みができます!

詳しくは、けんみん信組の窓口または、営業係までお気軽にお問い合わせください。

山梨県民信用組合
<http://www.yamanashikenminshinkumi.jp/>



環境保全の期待を胸に 走れトラック 希望をのせて

平成26年度環境標語最優秀作品

(一社) 山梨県トラック協会・(公社) 全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局 山梨運輸支局